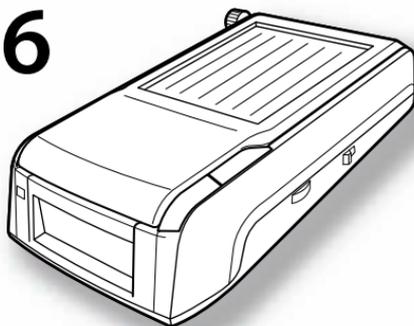




GV726



この度はベストワンシリーズをお買い求めいただきまして誠にありがとうございます。本書には取付け及び操作手順が説明されております。正しくご使用いただく為に本書をよくお読みのうえ、ご使用ください。尚、読み終えた後、いつでも見られるよう大切に保管してください。

目次

ご使用上の注意	2	350.1MHz 警報	31
各部の名称	4	パトロールエリア警報	31
製品本体	4	オービス／ユーザー登録ポイント警報	32
液晶表示	5	N システム／NH システム警報	33
付属品	6	チェックポイント警報	34
ご使用にあたって	7	ポリスエリア警報	34
ローバッテリーサイン	8	事故ポイント警報	34
充電の方法	8	サービスエリア・パーキングエリア警報	35
ソーラーバッテリー動作とシガープラグコード接続動作	9	セーフモード設定	35
液晶表示画面について	10	機能	36
GPS 機能について	10	ロードセレクト機能	36
取付け方法	12	ユーザー登録ポイント追加／	
取付の前に	12	オービス警報キャンセル機能	37
ダッシュボードへの取付け	13	レーダーキャンセル機能	39
サンバイザーへの取付け	15	データリセット	41
操作方法	16	ディスプレイモード（販売店向け機能）	41
電源スイッチを入れる	16	おまかせ機能	42
オートパワー OFF 機能	17	速度／時計表示機能	43
テスト機能による音量調整とミュート／		液晶表示反転機能	44
バッテリーチェック操作方法	18	オートボリュームダウン機能	44
各機能の ON/OFF 設定	19	オートディマー機能	44
レーダー受信感度の設定（ASC-V/i）	21	取締りの種類	45
ミュート表示（機能）について	23	レーダー式の取締り	45
振動センサーの設定（LSC-V/i）	24	レーダー式以外の取締り	47
警報について	27	その他	48
レーダー機能による警報	27	故障かな？と思ったら	48
無線受信機能について	28	製品仕様	48
カーロケ受信警報	29	さくいん	50

ご使用上の注意

ご使用の前に、この「ご使用上の注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。また、注意事項には危害や損害の大きさを明確にする為に誤った取扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」・「注意」の2つに分けています。

⚠ 警告 警告を無視した取扱いをすると、使用者が死亡や重傷を負う原因となります。

⚠ 注意 注意を無視した取扱いをすると、使用者が障害や物的損害を被る可能性があります。

⚠ 警告

- 本製品を分解・改造しないでください。火災、感電、故障の原因となります。
- 運転者は走行中に本製品を絶対に操作しないでください。同乗者の方が操作を行ってください。
- 本製品は電子部品を使用した精密機器ですので衝撃をあたえないでください。故障の原因となります。
- 本製品は、運転や視界の妨げにならない場所に取付けてください。又、自動車の機能（エアバック等）の妨げにならない場所に取付けてください。事故や怪我の原因となります。
- 本製品が万一破損・故障した場合は、すぐに使用を中止して販売店へ点検・修理をご依頼してください。そのまま使用すると火災・感電・車の故障の原因となります。
- 本製品を水につけたり、水をかけたりしないでください。火災・感電・故障の原因となります。
- 本製品を医療機器の近くで使用しないでください。電波により医療機器に影響を与える恐れがあります。

⚠ 注意

- 本製品にはお買い上げの日から1年間の製品保証がついています。（但し、内蔵電池、テープ等の消耗品は保証の対象となりません。）
- 本製品の近くに他のGPS機能を持つ製品を設置しないで下さい。誤作動を起こす可能性があります。
- GPS衛星の電波を受信できない下記のような場所では、本製品のGPS機能が動かない為、GPSによる警報、表示、メモリー機能が正常に動きません。（トンネル・地下道・建物の中・ビル等に囲まれた場所・鉄道や道路の高架下・木々の多い森の中等）
- 車載テレビ等でUHF56チャンネルを受信（設定）しているとGPS衛星を受信できない事があります。その様な場合、車載テレビ等のチューナー部から離しGPS受信に影響のない衛星の受信箇所へ本製品を取付けて下さい。

⚠ 注意

- 本製品の受信機能は製品仕様書に記載されている周波数帯のみ有効です。
- 本製品の GPS 警報は予め登録されたオービス・Nシステム・チェックポイント・警察・事故ポイント・SA/PA（サービスエリア／パーキングエリア）とお客様が任意で登録した位置のみ有効です。また、シガープラグコードを接続しないと警報しない機能があります。
- 一部ナビゲーションシステム、車載用 BS チューナー、CS チューナー、地上波デジタルチューナーで漏れ電波が取締り機と同じ周波数の場合、本製品のレーダー受信機能が受信する事があります。
- 取締り機と同一周波数のマイクロ波を使用した機器（下記）周辺で本製品のレーダー受信機能が受信する事がありますが、誤動作ではありません。予めご了承下さい。（自動ドア・防犯センサー・車両通過計測器・気象用レーダーの一部・航空用レーダの一部。）
- 一部断熱ガラス（金属コーティング・金属粉入り等）、一部のミラー式フィルム装着車の場合、GPS 衛星とレーダー波の電波が受信できない場合があります。
- 内蔵バッテリーは約 5 年が交換時期の目安となりますが使用状況によっては寿命が短くなります。
- 部品の交換修理、パーツ購入に関しましては、販売店にお申し付け下さい。
- 本製品を厳寒地や曇りの日が続く時にご使用になる場合、内蔵バッテリーの性能が十分に発揮できない場合があります。付属のシガープラグコードを接続してご使用下さい。
- 環境保護と資源の有効利用をはかる為、寿命となった本製品、内蔵バッテリーの回収を弊社にて行っています。
- 本製品の故障による代替品の貸出は弊社では一切行っておりません。
- 本製品の仕様及び、外観は改良の為、予告なく変更する事があります。ご了承下さい。
- 本製品は DC12V 車専用です。（DC24V 車へのお取付はできません。）
- キーを OFF にした時、シガープラグの電源が 0V にならない車両（外車など）の車両バッテリーを保護する為、エンジンを始動していない時は必ずシガープラグコードを抜いて使用するか、又は弊社オプションの SS-063 電源配線ユニットでイグニッション電源に直接接続して下さい。
- 電池フタを開ける時はネジにあったプラスドライバーが必要になります。

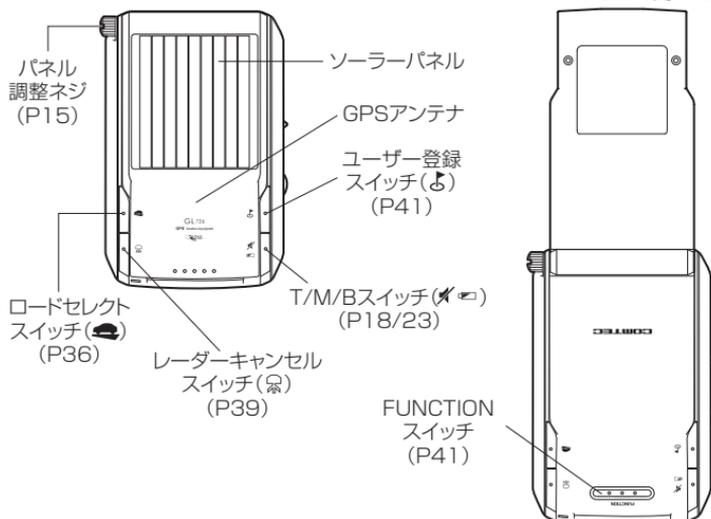
※ 本製品を取付けての違法行為（スピード違反等）に関しては製品動作有無にかかわらず一切の責任を負いかねます。

各部の名称

製品本体

上面

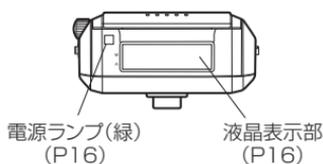
<ソーラーパネルを開けた状態>



側面



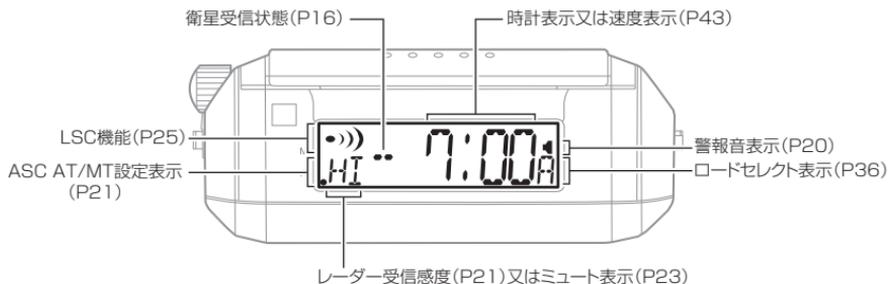
正面



※取扱説明書内のイラストと実際の製品は一部形状等が異なる場合があります。

液晶表示

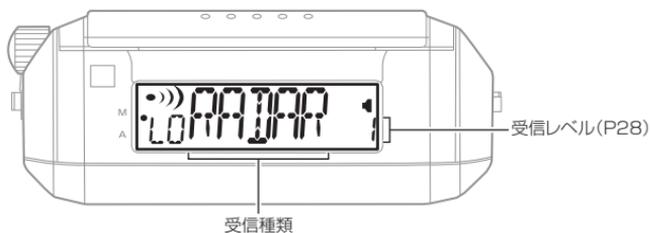
待機表示



反転表示の場合 (P44)



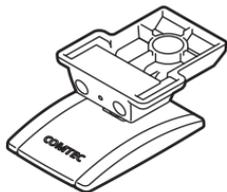
警報表示 ※例：レーダー警報



各部の名称

付属品

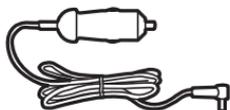
ステー (1 個)



本体固定ネジ (1 個)



シガープラグコード (1 個)



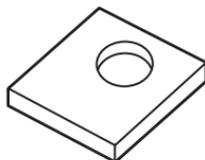
両面テープ (1 枚)



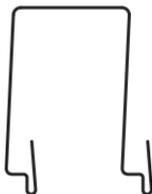
平ワッシャー (1 個)



バイザークッションシート (1 個)



サンバイザーステー (1 個)



ご使用前に必ず十分な充電を行ってください。

- 本製品は、商品出荷時には検査用予備充電のみされており、長時間、充電しないとバッテリーが自然放電します。初めてご使用になる時は必ず付属のシガープラグを使用し、本製品の電源 OFF の状態でエンジンをかけて 4 時間以上充電してください。(充電は断続的に行う事も可能ですが、その場合、目安として 8 時間以上充電してください)
- 通常の使用状況においてソーラーパネルの発電量と回路消費電力のバランスがとれるように設計されています。ただし下記のような場合、発電量が不足しローバッテリーサイン（内蔵バッテリー充電不足）が表示される事があります。もしこのような症状が現れた場合、付属のシガープラグコードを使用して定期的に充電を行ってください。
 1. 屋内駐車場・ガレージ等、太陽光の直接当たらない場所での長時間駐車。
 2. 冬季・梅雨時等、曇りの日が続き日照時間が少なくなる。
 3. 高速道路・交通量の多い道路・鉄道の線路近く等、絶えず振動を受けて動作状態になる。
 4. 夜間走行の頻度が多い。
 5. 全ての機能を ON にした状態で長時間使用する。
- 本製品に搭載している GPS 受信機能は、従来のレーダー探知機に比べより多くの電力を必要とし、ご使用条件によっては電池の消費が早い場合があります。また、ソーラーバッテリーで動作時は全ての受信機能を間欠動作しますが、付属のシガープラグコードを接続してご使用する場合は連続動作となり、より安定した状態でのご使用が可能です。
- 車両のシガープラグ接続で充電が困難な場合（長いエンジン始動ができない場合など）弊社オプションの SS-065 AC100V 専用充電器で家庭用（100V）コンセントから充電することができます。

ご使用にあたって

ローバッテリーサイン

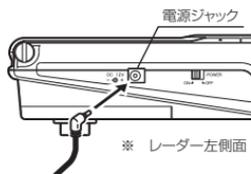
● ローバッテリーサインとは…

内蔵バッテリーの充電量が低下した場合、2段階の表示でお知らせします。

内蔵バッテリー状態	機能	アナウンス
充電 40% 以下	GPS 受信機能を停止	ブーブー バッテリーチェック GPS 機能を停止します。
充電 20% 以下	全受信機能を停止	ブーブー バッテリーチェック 充電を行って下さい。

充電の方法

- 1** 製品本体の電源ジャックに付属のシガープラグコードを差込みます。



- 2** 車両シガーソケットに付属のシガープラグコードを差込みます。



- 3** 車両のエンジンを始動した状態で充電を行ってください。



ソーラーバッテリー動作とシガープラグコード接続動作

本製品は、ソーラーバッテリー動作時はより長時間動作するよう、またシガープラグコード接続時はより安定動作を行い、GPS 機能をフル活用できるように設計されています。ソーラーバッテリー動作、シガープラグコード接続動作で下記表の機能が変わります。

電源の使用状態		シガープラグコード接続使用	ソーラー及び内蔵電池のみで使用
GPS 受信 (P10)		連続受信	間欠受信
ASC 機能 (P21)		ASC-i (GPS データ利用)	ASC-V (振動センサー利用)
LSC 機能 (P24)		LSC-i (GPS データ利用)	LSC-V (振動センサー利用)
ローバッテリー サイン (P18)		表示なし	表示あり
時計/速度表示 (P43)		表示あり	表示あり (時計のみ)
GPS 警報	オービス/ユーザー登録 ポイント警報 (P32)	2Km 手前より警報 ※高速のみ	1Km 手前より警報
	Nシステム/NHシステム(P33) チェックポイント (P34) SA/PA (P35)	警報する	警報する
	ポリスエリア (P34) 事故ポイント (P34)	警報する	警報しない
無線 警報	カーロケ (P29) 350.1MHz (P31)	警報する	警報する
ユーザー登録 (P37) レーダーキャンセル (P39)		有効	有効
液晶バックライト		常に点灯 警報時は緑又は橙、赤点灯	待機時は消灯 ボタン操作時は一定時間点灯 警報時は緑又は橙、赤点灯

ご使用にあたって

液晶表示画面について

液晶表示部は周囲の温度が約 75℃以上になると液晶表示画面の表示部分が黒くなったり、約 -10℃以下になると表示する文字が遅れて表示したり、表示した文字が消えるのに時間がかかったりします。これは液晶パネルの特性であって故障ではありません。周囲の温度が液晶パネルの安定動作する温度になると元の状態にもどります。

- ※ 上記の状態では液晶表示されていない場合でも、その他の機能は正常に作動します。
- ・ 液晶バックライトは緑と橙と赤の 3 色です。

GPS 機能について

● GPS とは

「Global Positioning System」アメリカ国防総省の衛星を利用し、地上での現在位置を計測するシステムです。

● GPS レシーバーの警報システム

衛星からの電波を受信して現在位置・移動方向・移動速度を算出し、あらかじめ登録してあるオービス・N システムのデータ（座標データ等）とを比較演算し、オービス・N システムに接近すると警報を行います。又、本製品内蔵のメモリー（記憶装置）に任意の警報ポイントを 100 件登録する事が可能です（ユーザーメモリー）。

● 間欠動作システム

本製品をソーラーバッテリーでご使用の場合、長時間使用を行えるよう小電力設計をし、GPS 受信を間欠動作させることでより一層、消費電力の軽減を行っております。その為、GPS 機能（警報、登録等）において、若干の時間差が発生する場合があります。また、シガープラグコードを接続して有線使用して頂ければ、GPS 受信を連続動作で行う為、より安定した状態でのご使用が可能です。

● 衛星受信開始時間／受信復帰時間

レーダ本体が電源 ON してから衛星受信を行う迄の時間と走行中、トンネル・高架下・屋内等で一時的に GPS 衛星が受信できない場所から受信できる場所へ移動した時、再受信する迄の時間。

(高架下等にオービスがある場合は衛星受信ができません、警報が行えない場合があります。注意してください。)

受信開始時間

衛星受信できない状態	衛星受信迄の復帰時間
10 秒以下	2 秒程度
10 秒～ 60 秒	5 秒程度
60 秒以上	10 秒以上

受信復帰時間

前回、電源 OFF してからの時間	衛星受信迄の時間
～ 5 時間	～ 10 秒程度
～ 数日間	～ 1 分程度
ご購入後又は、1ヶ月程度以上	～ 5 分程度

※参考数値です。実際の使用される場所によっては時間が変わります。

● 衛星データのリセット

本製品は、一旦 GPS 衛星を正常に受信した後、衛星の移動軌跡を計算し記憶します。これは走行時にトンネル等で衛星受信ができなくなった場合、再受信するまでの処理を速める為です。また、まれに GPS 受信が長時間に渡ってできない場合、以下の操作で衛星データをリセットしてください。

衛星データリセット	本製品の電源 OFF 状態で、ロードセレクト () スイッチ、FUNCTION スイッチを同時に押したままで電源を ON します。
-----------	--

※上記操作を行うと各機能設定 (P20) もリセットします。

● GPS 測定誤差について

本製品の測位計測機能は衛星の受信状態等により、約 50m 程度の測定誤差が出る場合があります。

● GPS 衛星受信と車載電子機器

車載テレビ等で UHF56 チャンネルを受信 (設定) している時やナビゲーション本体からの漏れ電波により GPS 衛星を受信できない事があります。そのような場合、車載電子機器から離し GPS 衛星の受信に影響のない箇所へ本製品を取付けてください。

● 登録データについて

今現在でも新たにオービス・N システムが増設されており、又、調査箇所以外にもオービス・N システムが設置されている可能性があります。お車を運転するときは安全の為、必ず法定速度内で走行してください。

● データ更新について

- ・ 本製品の登録データは最新バージョンへの書き換えが可能です。(有料)
- ・ 最新バージョンデータのリリースについては、販売店店頭・コムテックホームページにてお知らせ致します。(http://www.e-comtec.co.jp)

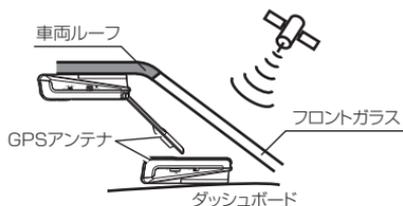
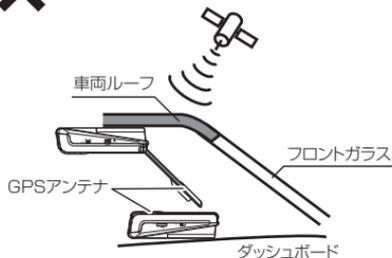
取付け方法

取付の前に

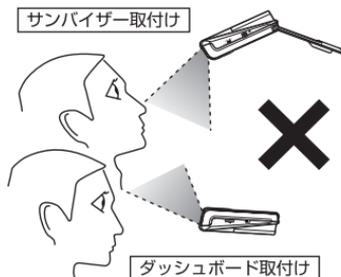
- ・フロントガラス上部のスモーク・ブロンズ処理部付近へのお取付けは、正常な充電ができない場合があります。付属のシガープラグコードをご使用ください。
- ・フロントガラスがUV カットガラス等の場合、ソーラーパネルへの光量不足の為、正常な充電ができない場合があります。付属のシガープラグコードをご使用ください。
- ・運転や視界の妨げにならず、車両の機能（エアバック等）に影響のない場所に取付けてください。
- ・GPS アンテナ上方向、前方向に遮蔽物があると GPS 衛星からの電波が受信できなくなります。取付け位置には十分注意してください。
- ・道路に対して平行、レーダー受信部を進行方向に向けて取付けてください。

✕ 車両ルーフによって電波が受信できない

○ 障害物がないので電波の受信ができる

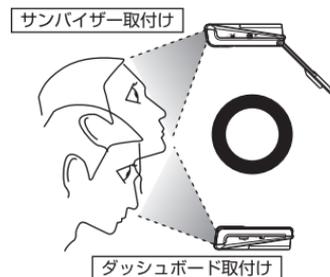


- ・レーダー本体の取付ける場所、角度によって液晶の特性上、液晶表示が見えにくくなる場合があります。液晶表示パネル面（角度）が視界の正面になると一番見やすくなるように設計されていますので、液晶パネル面が視界の正面になるようにレーダーを取付けてください。



●見にくい取付

液晶パネル面の角度が視界の正面よりずれている取付け

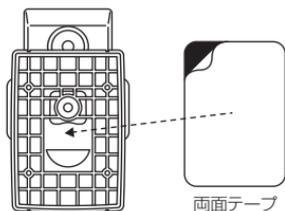


●見やすい取付

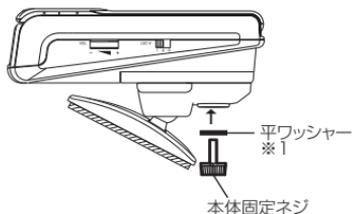
液晶パネル面の角度が視界の正面の取付け

ダッシュボードへの取付け

- 1** ステアに両面テープを取付けます。

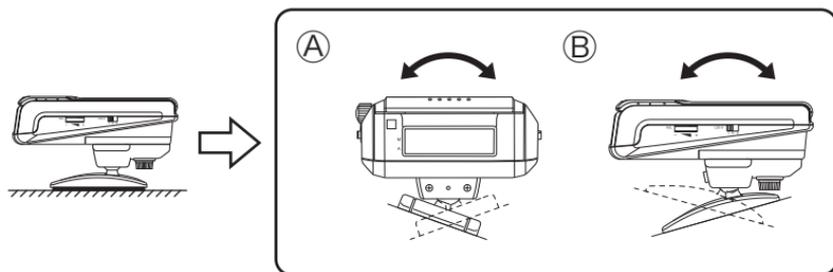


- 2** レーダー本体にステアを取付け、本体固定ネジに平ワッシャーを入れて回し締めます。



※ ワッシャーが無いと、本体がぐらつきます。ご注意ください。

- 3** ダッシュボード上に固定します。レーダー本体が地面と平行になるよう④、⑤のように角度を調整します。

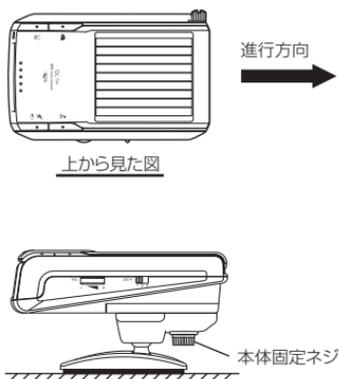


⚠ 注意

エアバックの飛び出し場所等、運転や視界の妨げにならない場所に取付けしてください。誤った場所への取付けは、事故の原因となります。

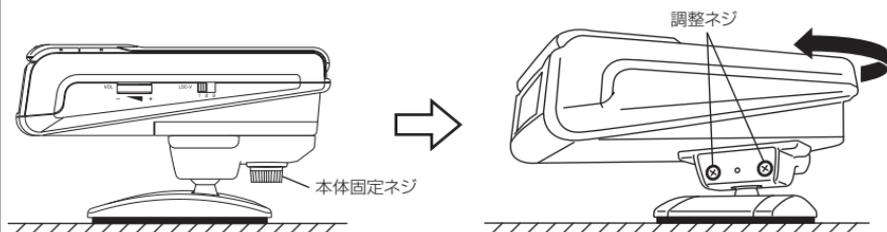
取付け方法

- 4 レーダー本体が、進行方向に向くように調整した後、本体固定ネジを手でしっかり締めます。



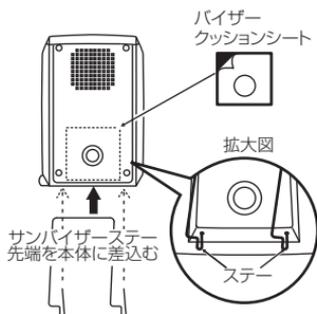
⚠ 注意

長い間、使用するとステーのジョイントがゆるみ、本体が傾くことがあります。その場合には、本体固定ネジをゆるめ、本体を回転させた状態で調整ネジをプラスドライバーでしっかり締めます。調整ネジを締めた後、本体を元の位置に戻して、本体固定ネジを手でしっかり締めます。

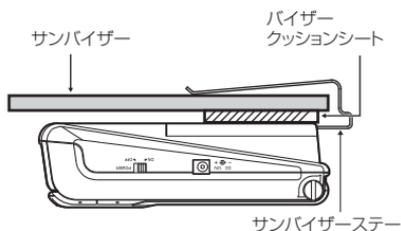


サンバイザーへの取付け

- 1** バイザークッションシートの剥離紙をめくり、本体ケース裏の下図点線部に貼付け本体にサンバイザーステーを差込みます。

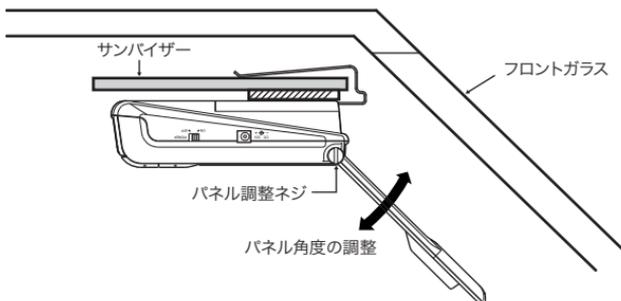


- 2** 下図のようにサンバイザーにレーダー本体を取付けます。



※必ず走行中でも外れないように固定して下さい。

- 3** パネル調整ネジを軽く緩めて、ソーラーパネルの角度を調整後、確実にパネル調整ネジを締め付けます。



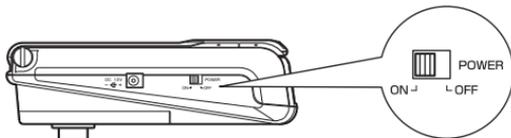
⚠ 注意

- ・ 極端にパネル調整ネジを締めると本体またはネジが破損する恐れがあります。ご注意ください
- ・ サンバイザーに取付けを行った場合、本体裏面にスピーカーがある為、操作音、警報音等が聞こえにくくなることがあります。ご了承ください。

操作方法

電源スイッチを入れる

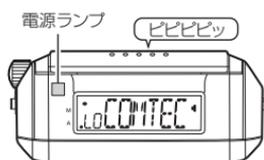
- 1 本製品の電源スイッチを ON にします。



スイッチ位置	使用状態
ON	機能 ON：本体の電源が入ります。
OFF	機能 OFF：シガープラグコードを接続してエンジン始動状態で本体を充電できます。

※ キーを OFF にした時、シガープラグの電源が 0V にならない車両（外車など）の車両バッテリーを保護する為、エンジンを始動していない時は必ずシガープラグコードを抜いて使用するか、又は弊社オプションの SS-063 電源配線ユニットでイグニッション電源に直接接続して下さい。

- 2 本体から音が鳴り、電源ランプが点灯、又は点滅します。



●電源ランプの光りかた ※音が鳴った後にランプが変化します。

シガープラグコードから電源使用の場合
本機の電源ランプが点灯します。
ソーラーから電源使用の場合（シガープラグコード非接続）
本機の電源ランプが点滅します。

- 3 液晶画面が表示されます。

○液晶画面表示後、約数秒～数分で GPS 衛星を受信し、下記音声アナウンスと液晶表示を行います。

「ピンポーン 衛星を受信しました。」

GPS 衛星受信した時の液晶表示



GPS 衛星を受信できないと…

○電源ランプが点灯、又は点滅してから約 3 分間で衛星の正確な受信ができていない場合、下記音声アナウンスを行います。

「ピンポーン 衛星を受信できません。」

GPS 衛星受信できない時の液晶表示



※アナウンス後、衛星を受信すると「ピンポーン衛星を受信しました。」とアナウンスして衛星受信状態になります。

◇衛星を受信できない場合、下記の原因が考えられます。

- ①フロントガラスが断熱ガラス（金属コーティング・金属粉入り等）
- ②ミラー式フィルム装着車の場合

※ GPS 機能についての詳しい内容は P10「GPS 機能について」をご覧ください。

オートパワー OFF 機能

- エンジン停止で駐車時等、振動の無い状態が続くと自動的に本製品の電源が OFF します。
- オートパワー OFF 状態の時にエンジン始動や走行振動を検出した場合、自動的に本製品の電源が ON します。
- ※ 振動や騒音の激しい場所に駐停車している場合は、本製品が振動を検知して電源が OFF しない場合があります。その場合、電源スイッチで電源を OFF してください。
- ※ 車種によっては、走行中でも低速走行時や停車時に振動が検出できない状態が続き、振動検出が行えない場合は、オートパワー OFF 機能が働きます。
- ※ LSC-V (P24) で調整を行ってください。

操作方法

テスト機能による音量調整とミュート/バッテリーチェック操作方法

● T (テスト) / M (ミュート) / B (バッテリーチェック) スイッチとは…

本製品がどのような警報をするのかが確認できるテストモードと、受信中の警報音を消すミュート機能とバッテリー状態を確認するバッテリーチェック機能を兼用したスイッチです。

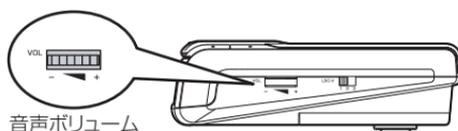
■ テスト機能を使用する

1 電源スイッチを ON にしてから【T/M/B】スイッチを押します。



2 テスト動作を行いますので、その間に音量ボリュームで適度な音量に調整してください。

- +側に回すと音量が大きくなり
- 側に回すと音量が小さくなります



■ ミュート (消音) 機能を使用する

警報中、【T/M/B】スイッチを押すと警報音を消音します。ミュート状態は、その時受信している電波がなくなると自動的に待機状態に戻ります。

■ バッテリー状態をチェックする ※シガーコード非接続時のみ

電源スイッチを ON にしてから「T/M/B」スイッチを長押しします。

内蔵バッテリー状態	アナウンス	液晶表示
充電良好です。	バッテリーは十分です	B-FULL
	「バッテリーは 60% です」	B- 60
充電をお勧めします。	「バッテリーは 40% です」	B- 40
充電必要です。	「バッテリーは 20% です」	B- 20

電源ランプ点灯 (シガーコード接続時) した状態で バッテリーチェックを行うと、レーダー本体から「ブー」と音が鳴り下記表示がされます。



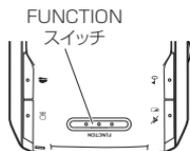
バッテリーチェックはできません。

各機能の ON/OFF 設定 ※マニュアルモード (P42) のみ設定できます

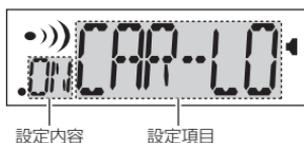
各機能の ON/OFF 設定ができます。各機能の設定は設定音と液晶表示でお知らせします。

■設定方法

※ ソーラーパネルを開いた状態にして電源スイッチ (P16) を入れて電源ランプが点灯、又は点滅している状態で設定を行って下さい。



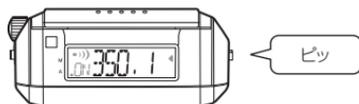
○設定中の表示画面 ※例:カーローケ



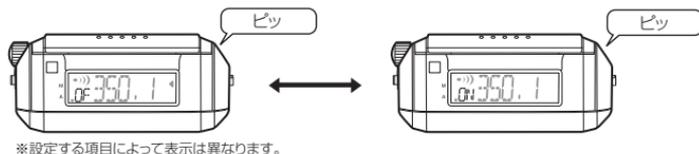
1 FUNCTION スイッチを長押しします。



2 FUNCTION スイッチを長押しする毎に右記 (P20) の順にモードが切替ります。



3 設定したいモードが表示されたら FUNCTION スイッチを短押しする毎に詳細機能が切替りますので、詳細機能の設定を行います。



4 設定を続ける場合は 2 へ、終了する場合は設定終了まで FUNCTION スイッチの長押しを繰り返すか又は、何もスイッチを押さない約 15 秒後、自動的に待機モードに切替ります。

操作方法

○設定モード開始

設定モードです。



○カーロケ無線(P29)

CAR-LO 設定項目

ON:設定ON
OFF:設定OFF

○350.1MHz無線(P31)

350.1 設定項目

ON:設定ON
OFF:設定OFF

○NHシステム/NHシステム(P33)

NH-SYS 設定項目

ON:設定ON
OFF:設定OFF

○チェックポイント(P34)

CHK-PT 設定項目

ON:設定ON
OFF:設定OFF

○ポリスエリア(P34)

POLICE 設定項目

ON:設定ON
OFF:設定OFF

○事故ポイント(P34)

JINKO 設定項目

ON:設定ON
OFF:設定OFF

○SA/PA(P35)

SA-PA 設定項目

ON:設定ON
OFF:設定OFF

○セーフモード(P35)

SAFE 設定項目

ON:設定ON
OFF:設定OFF

○ASC機能 レーダー受信感度(P21)

ASC 設定項目

AT: 受信感度自動設定
LO: (マニュアル)ロー感度
HI: (マニュアル)ハイ感度
SH: (マニュアル)スーパーハイ感度
HY: (マニュアル)ハイパー感度

○LSC機能 振動センサー(P24)

LSC 設定項目

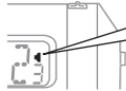
OFF:停車時でも警報を行います。
ON:停車時にレーダー警報音のみを自動で消音します。
※無線警報音(2バンド)は消音しません。
AL:停車時に全ての警報音を消音します。

○アラーム警報音

ALARM 設定項目

BZ:警報音をブザーで鳴らします。
ML:警報音をメロディ音 某テレビ局刑事ドラマのテーマ曲(Rhythm & Police)で鳴らします。

◇設定、待機画面時、アラーム設定内容を確認することができます。



♪メロディ設定
🔊ブザー設定

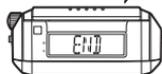
○バックライト

COLOR 設定項目

GR:緑
OR:橙

○設定モード終了

ピッ



レーダー受信感度の設定 (ASC-V/i)

● ASC 機能とは…

車の走行状況（振動又は、走行速度を検出して）などによって、レーダーの受信する感度を自動的に調整したり、マニュアル設定で受信感度を固定することもできます。感度をオート設定することにより、高速走行中はレーダー感度を上げて警報を鳴りやすくし、低速走行中（渋滞など）はレーダー感度を下げて警報を鳴りにくくします。

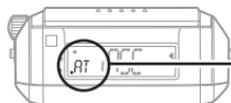
本製品には、レーダー受信感度を HY（ハイパー）、SH（スーパーハイ）、HI（ハイ）、LO（ロー）の4段階に手動設定するマニュアル設定機能と、走行状況に応じて適切な受信感度をオート設定するASC機能（オート・センシティブ・コントロールの略称）を設定することができます。（各感度の警報タイミングにつきましてはP27「レーダー機能による警報」をご覧ください。）

設定 \ 状態	 信号待ち、低速走行時など	 走行中
ASC 設定	受信感度 LO（ロー）	HI（ハイ）→ SH（スーパーハイ）→ HY（ハイパー）に受信感度が変化
マニュアル設定 HY（ハイパー）の場合	HY（ハイパー）感度そのまま固定	

■ 設定方法

※ 電源スイッチ（P16）を入れて電源ランプが点灯、又は点滅している状態で設定を行って下さい。

P20 の設定モードで ASC 機能設定に合わせ FUNCTION スイッチの短押し毎に「AT」オート、「LO」ロー、「HI」ハイ、「SH」スーパーハイ、「HY」ハイパーの順に変化します。設定したい項目を選んで設定します。



【ファンクション】スイッチ短押し毎に変化します。

待機画面で ASC-V の自動設定かマニュアル設定かを液晶表示で確認することができます。

ASC設定時は[A]の場所に
（・）が表示されます。



マニュアル設定時は[M]の
場所に（・）が表示されます。



操作方法

■マニュアルに設定にした場合 (LO/HI/SH/HY 選択時)

下記表を参照し最適な受信感度を設定してください。

受信感度	適切な走行場所	走行状態	待機時液晶画面表示
LO (ロー)	市街地	低速走行	LO
HI (ハイ)	郊外地	中速走行	HI
SH (スーパーハイ)	郊外地・高速道路	中・高速走行	SH
HY (ハイパー)	高速道路	高速走行	HY

※ 出荷時は ASC-V はオート (P21) 設定です。

■ASC 設定にした場合 (AUTO 選択時)

走行速度に対して適切なレーダー受信感度に自動に変わります。ソーラーバッテリー使用時とシガープラグコード接続使用時では検出方法が異なります。

電源をシガープラグから取った場合	その他の場合
ASC-i 機能	ASC-V 機能

◇ASC-i 機能

オート・センシティブ・コントロール インテリジェンスの略称で、**GPS 機能を使用して算出した自車の走行速度**にあわせて適切なレーダー受信感度を自動で設定する機能です

受信感度	走行速度
LO (ロー)	30km/h 未満
HI (ハイ)	30km/h ~ 60km/h
SH (スーパーハイ)	60km/h ~ 80km/h
HY (ハイパー)	80km/h 以上

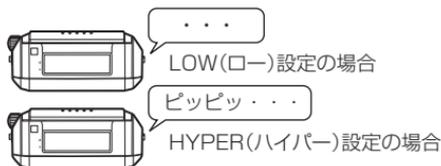
※ ASC-i 機能設定状態で、GPS 衛星の受信が行えない場合は、受信感度 HY (ハイパー) に固定されます。

◇ASC-V 機能

オート・センシティブ・コントロール バイブレーションの略称で、走行中の速度変化による**車両振動を検出し**、適切なレーダー受信感度を自動設定する機能です。

⚠ レーダー警報が鳴らない？

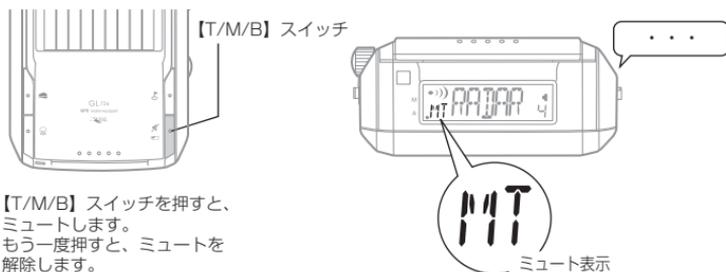
受信したレーダー波が弱いと、レーダー感度設定によっては警報表示はしますが、警報音が鳴らない場合があります。



ミュート表示（機能）について

● ミュート表示について…

警報中に【T/M/B】スイッチを押すと、警報音が消音しミュート表示します。ミュート表示している間は、警報音は鳴りません。ミュート状態は、その時受信している電波がなくなり、待機画面に戻ると解除します。



上記のスイッチ操作による警報キャンセルの他に、ASC 及び LSC 機能の警報キャンセル作動時にもミュート表示します。

操作方法

振動センサーの設定 (LSC-V/i)

● LSC 機能とは…

ロー・スピード・キャンセルの略称です。車が駐・停車時又は、低速走行時に警報を鳴らさないようにします。

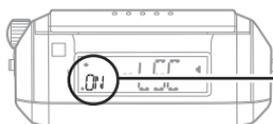
状態	走行状態	表示マーク	警報
LSC-V	停車中	•	しない
	走行中	•))	する
LSC-i	停車中～ 30Km/h	•	しない
	30Km/h 以上	•))	する
LSC 機能を OFF 又は衛星を受信していない時		•))	する

※ 警報を行っていない時はミュートマークが表示されます。

■ 設定方法

※ 電源スイッチ (P16) を入れて電源ランプが点灯、又は点滅している状態で設定を行って下さい。

P20 の設定モードで LSC 機能設定に合わせ FUNCTION スイッチの短押し毎に「OFF」オフ、「ON」オン、「AL」オール ON の順に変化します。設定したい項目を選んで設定します。



【ファンクション】スイッチ短押し毎に変化します。

設定	警報
OFF	停車中でも警報を行います。
ON	停車中でも無線警報 (2 バンド) のみ行います。
AL	停車中は警報を行いません。走行中のみ警報を行います。

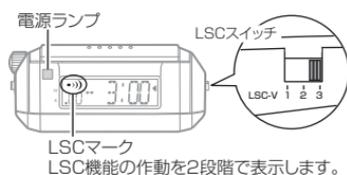
◇ LSC-V 機能

車が駐・停車時と走行時の振動差を検出して警報音をカットする機能です。

※ 本製品が**シガープラグコード**で電源を取っていない場合の機能です。

停車時か走行時かを確認する為のセンサー（振動）調整を行います。

アイドリング状態（駐・停車時）で電源ランプが早い3回点滅し**走行状態で、1回点滅**するよう下記表を参照し車両にあった状態にLSC-Vスイッチを設定してください。



LSCスイッチ	振動検出感度	車両タイプ（目安）
1	低	ディーゼル （振動の大きい車両）
2	中	ガソリン/ディーゼル
3	高	ガソリン （振動の小さい車両）

LSC ON 又はオール ON 設定時、下記の様に警報を行います。

状態	電源ランプ	LSC マーク	警報
停車中	早い3回点滅	•	しない
走行中	1回点滅	•))	する

LSC OFF 設定時、下記の様に警報を行います。

状態	電源ランプ	LSC マーク	警報
停車中	早い3回点滅	•))	する
走行中	1回点滅		

※ オートパワー OFF（P17）時は全てのランプは消灯します。警報を行っていない時はミュート表示（P23）されます。

⚠ 注意

車両振動が極端に大きな車や、駐停車時、走行時の振動差が小さい車はLSC機能が正常に働かない事があります。本製品の取付け位置によっても振動の検出度合いが変わる事があります。

操作方法

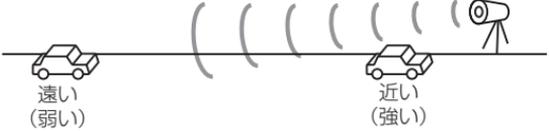
◇ LSC-i 機能

本製品がシガープラグコードで電源を取って作動している場合のみ有効です。GPS 機能を使用して算出した自車の走行速度が 30Km/h 以下の場合、警報中でも LSC-i 機能が作動して警報音をカットします。



レーダー機能による警報

レーダー式取締り機に接近した場合、下記の様に警報を行います。

レーダー式取締り機迄の距離（電波の強さ）			
受信レベル表示（P28） （バックライト色）		<p>1 ▶ 2 ▶ 3 ▶ 4</p> <p>(緑) (橙) (赤) (赤)</p>	
アラーム音	受信感度（表示）	ロー LO	アラーム／メロディーが鳴らない
	ハイ HI	※ミュート [MT] (P23) が表示されます。	
	スーパーハイ SH	.MT	アラーム／メロディーが鳴る
	ハイパー HW		
ステップアラームのタイミング			
アラーム音		<p>ビッピッ・・・ビッピッ・・・ ビッピッ・ビッピッ・ビッピッ</p> <p>(スローテンポ・アラーム) (アップテンポ・アラーム)</p>	
メロディーの場合は、テンポは変わりません		<p>♪♪♪♪♪♪♪♪ ~ メロディー ~ ♪♪♪♪♪♪♪♪</p>	
ステルス波受信	液晶表示	 <p>※ 液晶バックライト色は赤</p>	
	警報音	<p>ピッピッピッ・・・ ※メロディ設定の場合はテンポは変わらず警報を行います。</p> <p>アラーム音が鳴ります。</p>	

⚠ 注意

レーダー警報中でも無線警報（カーロケ、350.1MHz）を優先します。

無線受信機能について

受信する電波により受信範囲が異なります。また無線受信を行う場合、内蔵バッテリーの消費電力が増加するためシガープラグコード接続での使用をお勧めします。

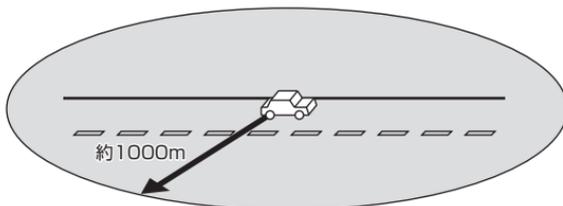
⚠ 注意

放送局や無線中継局の近くを通過する時、強い電波の影響により誤動作する場合があります。

■受信距離

設定	受信種類	受信距離
OFF	警報は行いません	
ON	カーロケーター、350.1MHz	約1000m

◇カーロケーター / 350.1MHz



⚠ 注意

- ・受信感度（距離）は直線見通し距離で、間に障害物が無い状態での受信距離目安です。
- ・使用状況、走行状態、製品取付け位置、周囲の環境（電波状況）によって受信感度（距離）が短くなる場合があります。

■受信する電波の強さによってレベルが表示されます。(1:弱い電波～4:強い電波)

※例:カーロケの場合



受信電波の強さによってレベルメーターが4段階に変化します。

レベルメーター

- 1 弱い電波(遠い)を受信
 - 2
 - 3
 - 4 強い電波(近い)を受信
-
- The level meter icon shows a triangle pointing up to level 4.

カーロケ受信警報

●カーロケーターシステムとは…

「無線自動車動態表示システム」といい、緊急車両に装備されたGPS受信機より算出した位置データを無線で定期的（間欠）に各本部の車両管理センターへ送信するシステムです。本製品は緊急車両からの電波を受信し、音声で警報を行い緊急車両の走行を妨げないよう安全な回避を促します。



現在、緊急車両の多くはGPSより算出した位置データを無線で定期的（間欠）に各本部に送信するカー・ロケーターシステムを装備しています。

本製品は各本部へ送信している電波を受信し、音声で警報を行い、緊急車両の走行を妨げないよう安全な回避を促します。

⚠ 注意

- ・ 一部地域ではまだ導入されていなかったり、システムが変更される地域もある為、全ての地域で警報するとは限りません。また、システムを導入している地域であっても、一部車両に装備していない場合もあります。
- ・ カー・ロケーター・システムは間欠で送信される為、実際の緊急車両の接近と受信タイミングにズレが生じる事があります。
- ・ 緊急車両は走行状態（緊急走行、通常走行、駐停車）によって、電波の送信時間が変化する為、実際の緊急車両の接近と受信タイミングにズレが生じる事があります。
- ・ 緊急車両がエンジン停止時は電波の送信を行わない為、本製品での受信はできません。
- ・ 送信電波の中継局、受信本部近辺では緊急車両の接近に関わらず受信する事があります。
- ・ 本製品が受信するカーロケーターシステムは、パトカー、覆面パトカーを中心に導入されており白バイ、救急車、消防自動車等には現在導入されておりませんが、将来的には導入する可能性があります。

警報について

◇カーロケ電波の状況によって遠近識別警報を行います。

◇カーロケ無線受信状況 「ボイス内容」	受信 レベル	液晶表示内容 (バックライト色)
◇遠いカーロケ電波を受信した場合 「ピピピッ カーロケ無線を受信しました。」	1～2	 (橙)
◇近いカーロケ電波を受信した場合 「ピピピッ 近くのカーロケ無線を受信しました 緊急車両にご注意下さい。」	3～4	 (赤)
◇接近するカーロケ電波を受信した場合 「ピピピッ カーロケ無線を受信しました 緊急車両の接近にご注意下さい。」	2～4	 (赤)
◇カーロケ電波を受信し、その後カーロケ 電波を回避した場合 「ピピピッ カーロケ無線を回避しました。」	非表示	 (緑)

※ 使用条件に合わせて ON/OFF 設定することができます。詳しくは、P20 参照。

350.1MHz 警報（取締り用連絡無線）

●取締り用連絡無線（350.1MHz）とは…

取締り用連絡無線で使用される周波数帯で、速度違反取締りやシートベルト装着義務違反取締り等で使用することがあります。また、通話内容をコード化したデジタル無線方式を使用するケースもあり、音声受信ができない場合もあります。



ボイス内容	受信レベル	液晶表示内容
ピピピッ 350.1 無線を受信しました。ご注意ください。 ～通話音声（デジタル信号はノイズ）～	1～4	

※ 使用条件に合わせて ON/OFF 設定することができます。詳しくは、P20 参照。

パトロールエリア警報（パトロールエリア info）

●パトロールエリアとは…

検問などで使用されている一定の無線電波を受信するエリアです。

※ 必ず検問、取締等を行っているとは限りません。

ボイス内容	受信レベル	液晶表示内容
ピピピッ パトロールエリアです ご注意ください。	4	

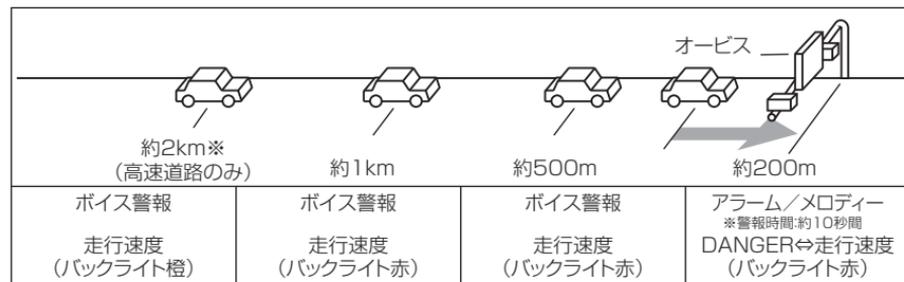
※ パトロールエリア受信の設定や受信感度の調整はありません。カーロケ、350.1MHz の設定が ON になっていないとパトロールエリア警報は行いません。

オービス／ユーザー登録ポイント警報 (GPS スピードガン info)

オービスポイントに接近した場合、下記のように警報を行います。

※ 対向車線上のオービスへの警報は行いません。

(注) GPS 電波が受信できていない状態では、GPS 警報ができません。



※ 約2km 地点での警報は、シガープラグコードを接続した状態でロードセレクト機能が (P36) ハイウェイまたはオールモードご使用の場合のみ行います。

警報を行う距離は、対象とするオービスからの直線距離です。道路の高低差、カーブの大きさ等によっては実際の走行距離と異なる場合があります。また、近くの平行する道路等を走行中の時も警報を行う場合があります。

オービス種類	ボイス内容	液晶表示内容
	※ () 内の言葉はオービス迄の直線距離、高速・一般道等によって変わります。	
ループコイル 光電管	ピンポーン 約 (2km・1km・500m) 先、(高速道路上) ループコイルがあります。時速は約〇〇〇km/h ※ 1 です。	LP 1km ⇔ 走行速度
LHシステム	ピンポーン 約 (2km・1km・500m) 先、(高速道路上) LHシステムがあります時速は約〇〇〇 km/h ※ 1 です。	LH 1km ⇔ 走行速度
Hシステム	ピンポーン 約 (2km・1km・500m) 先、(高速道路上) Hシステムがあります。時速は約〇〇〇 km/h ※ 1 です。	H 1km ⇔ 走行速度
レーダー	ピンポーン 約 (2km・1km・500m) 先、(高速道路上) レーダーがあります。時速は約〇〇〇 km/h ※ 1 です。	RD 1km ⇔ 走行速度
トンネル出口 付近	ピンポーン トンネル出口 ※ 2 □□□があります。 時速は約〇〇〇 km/h ※ 1 です。	RD TNL ⇔ 走行速度
ユーザー登録 ポイント(P37)	ピンポーン 約 (2km・1km・500m) 先、(高速道路上) ユーザー登録ポイントがあります。時速は約〇〇〇 km/h ※ 1 です。	US 1km ⇔ 走行速度

※ 1 〇〇〇部に警報アナウンス時の時速をお知らせします。

※ 2 □□□部にオービス種類をアナウンスします。

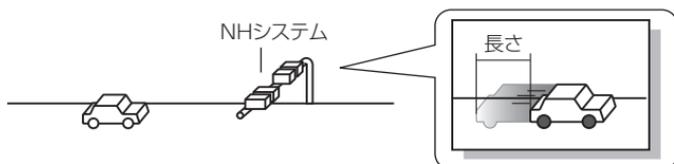
⚠ ※ 1 の時速はアナウンスする直前の時速をアナウンスします。現在の走行している時速ではありません。

Nシステム／NHシステム警報

● NHシステムとは…

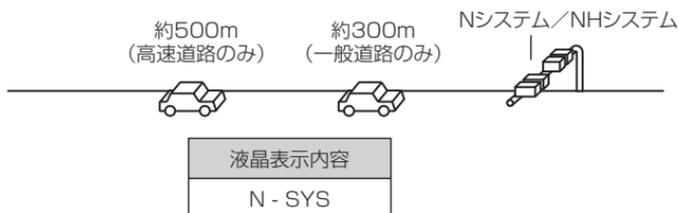
通過車両を一定のシャッタースピードで撮影し、写真画像の残像をコンピュータで解析し残像の度合いによって走行速度を割出すシステムです。現在は車両識別用監視カメラとして稼動していますが、将来的には取締りに使用される可能性があります。

P20の設定により機能をON/OFFすることができます。



Nシステム／NHシステムポイントに接近した場合、下記の様に警報を行います。

※ 対向車線上のNシステム／NHシステムへの警報は行いません。



(注) 警報を行う距離は、対象とするNシステム／NHシステムからの直線距離です。道路の高低差カーブの大きさ等によっては実際の走行距離と異なる場合があります。

※本製品は、NHシステムをNシステムとして警報を行います。

ボイス内容	液晶表示内容
※ () 内の言葉は、高速上のNシステム／NHシステム警報時にアナウンスします。	
ピンポン この先 (高速道路上) Nシステムがあります。	N-SYS

(注) GPS 電波が受信できていない状態では、GPS 警報ができません。

チェックポイント警報（トラップポイント info）

※ GPS 電波が受信できない状態では、GPS 警報ができません。

速度取締りを中心に頻繁に行われているエリアや過去に取締りの事例があるエリアが予め本機に登録しており、チェックポイントに接近すると約 1km 手前で注意をお知らせし離れば回避をお知らせします。

P20 の設定により機能を ON/OFF することができます。

状況	ボイス内容	液晶表示内容
接近した場合	ピンポーン チェックポイントに接近 ご注意ください。	CHK-PT
回避した場合	ピンポーン チェックポイント を回避しました。	KAIHI

ポリスエリア警報（ポリスロケート info）

※ GPS 電波が受信できない状態では、GPS 警報ができません。

本機に登録されている警察署付近に接近（約 300m）するとお知らせします。

ボイス内容	液晶表示内容
ピンポーン チェックポイントに接近 ご注意ください。	POLICE

事故ポイント警報（事故ポイント info）

※ GPS 電波が受信できない状態では、GPS 警報ができません。

全国の事故多発ポイントを予め本機に登録しており、事故多発ポイントに接近（約 300m）するとお知らせします。

※ P20 の設定により機能を ON/OFF することができます。

ボイス内容	液晶表示内容
ピンポーン チェックポイントに接近 ご注意ください。	JIKO

サービスエリア・パーキングエリア警報 (SA/PA info)

※ GPS 電波が受信できない状態では、GPS 警報ができません。

全国的高速道路にあるサービスエリア又はパーキングエリアの位置情報を予め本機に登録しており、サービスエリア又はパーキングエリアに接近すると2Km 手前でお知らせします。

P20 の設定により機能を ON/OFF することができます。

状況	ボイス内容	液晶表示内容
パーキングエリア	ピンポン 約 2Km 先 パーキングエリアがあります。	PA 2km
サービスエリア	ピンポン 約 2Km 先 サービスエリアがあります。	SA 2km

※ ロードセレクト機能 (P36) がハイウェイモード、オールモードの時のみ有効です。

セーフモード設定 (セーフティモード info)

●セーフモード設定とは…

表の期間にお任せモード設定またはマニュアルモード設定の場合に、自動的にオール ON モード設定に切り替える設定です。

P20 の設定により機能を ON/OFF することができます。

セーフティウィーク	日付
春の全国交通安全週間※	毎年の「4月6日～4月15日」
秋の全国交通安全週間※	毎年の「9月21日～9月30日」
年末取締り強化期間※	毎年の「12月15日～1月5日」

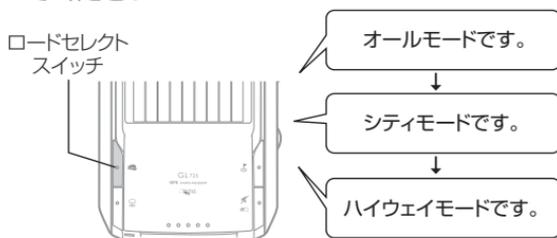
※ 交通安全週間は、原則として上記期間ですが、都合により変更となる場合があります。

ロードセレクト機能

高速道路上のオービス・Nシステム等の警報を行う「ハイウェイモード」、一般道路上のオービス・Nシステム等の警報を行う「シティモード」、高速／一般道路両方のオービス・Nシステム等の警報を行う「オールモード」を選択します。

※ 商品出荷時はオールモードに設定してあります。

(警) 運転者は走行中に本製品を絶対に操作しないでください。同乗者の方が操作を行ってください



- 1 本製品を電源 ON 状態にします。
- 2 ロードセレクト () スイッチを押す毎にオール→シティ→ハイウェイの順に設定されます。(出荷時は「オールモード」に設定してあります)
- 3 下記表を参照し、走行条件にあわせたロードセレクトモードを設定してください。



ロードセレクトモード	液晶表示内容	警報を行う道路
オール	A	一般道路／高速道路
シティ	C	一般道路のみ
ハイウェイ	H	高速道路のみ

⚠ 注意

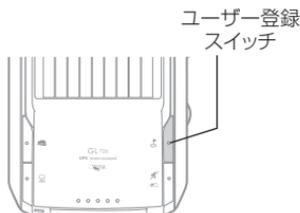
シティモード設定中、走行時速が 80km/h を超えたり、ハイウェイモード設定中、車が停車状態になると「モード確認をして下さい。」とアナウンスします。

ユーザー登録ポイント追加／オービス警報キャンセル機能

● ユーザー登録ポイントの追加機能とは…

本製品に未登録又は新たに設置されたオービスを任意に 100 件まで追加登録できます。

※ GPS 電波が受信できない状態では、GPS 警報ができません。



ユーザー登録ポイント追加方法

- 1 登録したい地点を走行し GPS 警報を行っていない時にユーザー登録 (Ⓜ) スイッチを押します。
- 2 2 秒後に「ユーザーポイント登録しました」とアナウンスができれば登録完了です。

ユーザー登録ポイント解除方法

- 1 登録地点を走行し GPS 警報中にユーザー登録 (Ⓜ) スイッチを**長押し**します。
- 2 「ユーザーポイント解除しました」とアナウンスができれば解除完了です。

● オービス警報キャンセル機能とは…

GPS データーに登録されている、ポイントの警報音を1件単位でキャンセル設定（消音）することができます。登録する時にユーザー登録スイッチを長押しすると登録できませんのでご注意ください。

警報キャンセル設定方法

1 キャンセル設定したい地点を走行し GPS 警報中にユーザー登録 (♫) スイッチを押します。

2 2 秒後に「キャンセルしました」とアナウンス音ができれば設定完了です。

※ キャンセル設定した場合、キャンセル地点走行時は“MT”が表示し警報音が消音します。

警報キャンセル解除方法

1 キャンセル地点を走行し“MT”表示中にユーザー登録 (♫) スイッチを長押しします。

2 「キャンセル解除しました」とアナウンスが流れ、警報音が鳴ります。

※ 工場出荷状態(最初)から登録してあるオービスポイント・N システムで設定が出来ます。

◇ ユーザー登録ポイント追加、オービス警報キャンセルができない場合…

- ・ GPS 衛星が受信できないと“衛星を受信できません [ERROR]”とアナウンスが流れます。
- ・ 一度登録した場所に再度、登録しようとした場合、“登録できません [ERROR]”とアナウンスが流れます。
- ・ ユーザー登録ポイントを100件以上登録した場合、“メモリーフルです [MEMORY] → [FULL]”とアナウンスが流れます。

⚠ 注意

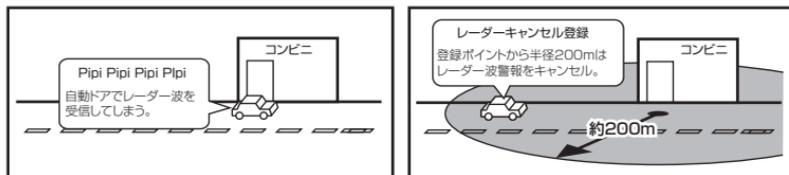
スイッチ操作をする時に本体のGPSアンテナを手で隠すと衛星を受信できませんのでGPSアンテナを隠さないように操作をして下さい。

レーダーキャンセル機能

● レーダーキャンセル機能とは…

自動ドア等、レーダー波を受信してしまう場所等を登録すれば、約半径200m内のレーダー警報をキャンセル（消音）します。（登録件数：50件）

※ GPS 電波が受信できてない状態では、登録できません。



操作スイッチ

レーダーキャンセルスイッチ



レーダーキャンセル登録方法

- 1 レーダー警報時にレーダーキャンセル (📶) スイッチを押します。
- 2 2秒後に「レーダーキャンセルポイント登録しました。」とアナウンス音ができれば登録完了です。

※ レーダーキャンセル登録位置を走行した場合、「MT」を表示し、警報音が消音します。

レーダーキャンセル解除方法

- 1 レーダーキャンセル登録地点を走行時、「MT」表示中の位置で、レーダーキャンセル (📶) スイッチを長押しします。
- 2 「レーダーキャンセルポイント解除しました」とアナウンス音ができれば解除完了です。

◇レーダーキャンセルができない場合…

- ・レーダー（ステルス含む）受信中でも GPS 衛星が受信できないと“衛星をサーチ中です [ERROR]”とアナウンスが流れます。
- ・一度登録した場所に再度、登録しようとした場合、“登録できません [ERROR]”とアナウンスが流れます
- ・レーダーキャンセルを 50 件以上登録した場合、“メモリーフルです [MEMORY] → [FULL]”とアナウンスが流れます。

⚠ 注意

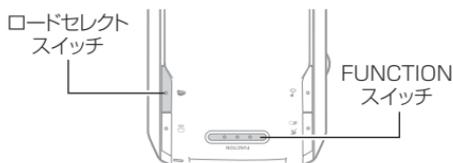
スイッチ操作をする時に本体の GPS アンテナを手で隠すと衛星を受信できませんので GPS アンテナを隠さないように操作をして下さい。

データリセット

全ての登録を行ったデータをリセット（初期化）し、商品出荷時の状態に戻します。

⚠ 注意

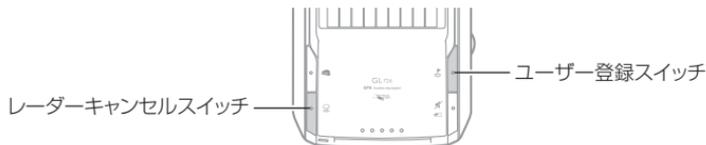
- ・ データリセットを行うと、ユーザー登録ポイント・レーダーキャンセルポイント等の登録データは全て消去します。また、消去したデータの復元はできません。
- ・ 商品出荷時、予め登録してあるデータは消去できません。



- 1 本製品を電源 OFF 状態にします。
- 2 ロードセレクト (👉) スイッチ、FUNCTION スイッチの2つを同時に押したままの状態ですべて電源を ON します。
- 3 「ピッ」と音が鳴り「ALLRST」表示し、数十秒後に「オールリセットしました」とアナウンスが流れデータリセットが完了します。

ディスプレイモード（販売店向け機能）

本製品の一連の動きをデモンストレーションします。
本製品をディスプレイとして展示する場合等に設定を行ってください。



- 1 シガープラグコードを接続します。
- 2 本製品を電源 OFF 状態にします。
- 3 レーダーキャンセル (👉) スイッチ、ユーザー登録 (👉) スイッチの2つを同時に押したままの状態ですべて電源を ON します。※同じ操作を行うと、解除します。

おまかせ機能

1つのボタン操作ですべての設定を変更できる機能です。3種類の中から選んで設定できます。

おまかせモード …… 一般的によく使用する機能のみ ON にします。

オール ON モード … 全ての設定を ON に設定します。

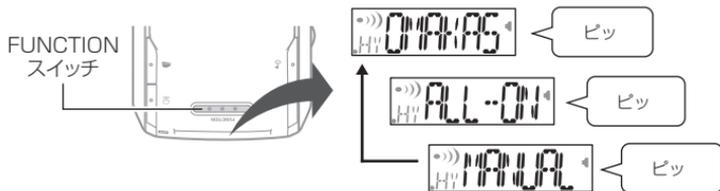
マニュアルモード … P20 で選んだ設定になります。

※ おまかせモード、オール ON モードの時は P20 の各設定はできません。

設定方法

※ 電源スイッチ (P16) を ON にし、電源ランプが点灯、又は点滅している状態で設定を行ってください。

FUNCTION スイッチを押す毎におまかせモード→オール ON モード→マニュアルモードの順に設定されます。



	機能	おまかせモード	オール ON モード	マニュアルモード
無線	カーロケ	ON		
	350.1MHz			
GPS 警報	チェックポイント	OFF	ON	P20 の設定になります。オールリセット、工場出荷状態時の内容はオール ON モードの内容になります。
	N システム			
	警察署			
	事故			
	SA/PA			
	セーフモード			
	ロードセレクト			
その他	ASC 機能	AT (オート)	AT (オート)	
	LSC 機能	ON	ON	
	アラーム音	ブザー	ブザー	

※ おまかせモード、オール ON モードの設定中は P20 の設定モード操作しても操作できずにレーダー本体から「ブー」と音が鳴ります。

- ・ おまかせ機能設定を行ってもシガーコード接続で電源を取っていない場合、作動しない機能があります。
- ・ 工場出荷状態はマニュアルモードです。

速度／時計表示機能

● 時計表示について

本機には、GPS の時間データ情報を利用して現在の時刻を表示することができます。

※ 衛星のデータを利用する為、時刻の設定はありません。

- ・ GPS 情報によっては現在の時刻と本機の時間に誤差が生じることがありますがこれは故障ではありません。

● 速度表示について

本機には、GPS の位置データ情報を利用して車速を表示することができます。

- ※ GPS のデータによって速度を算出しておりますので、車両の速度メーターと、表示速度が異なる場合があります。
- ・ GPS が受信できないと、速度表示が変化しません。
- ・ 時速 10Km/h 以下の時は正確な車速が表示されない場合があります。
- ・ GPS の受信が不安定な場所（高架下、ビルの間等）では正確な車速が表示されない場合があります。

■ 設定方法

※ 電源スイッチ (P16) を ON にし、シガープラグコードを接続して電源ランプが点灯している状態で設定を行って下さい。

電源が ON になっていることを確かめてからロードセレクトスイッチ (🔑) を **長押し** します。**長押し** 毎に時計表示、速度表示と交互に表示し設定します。



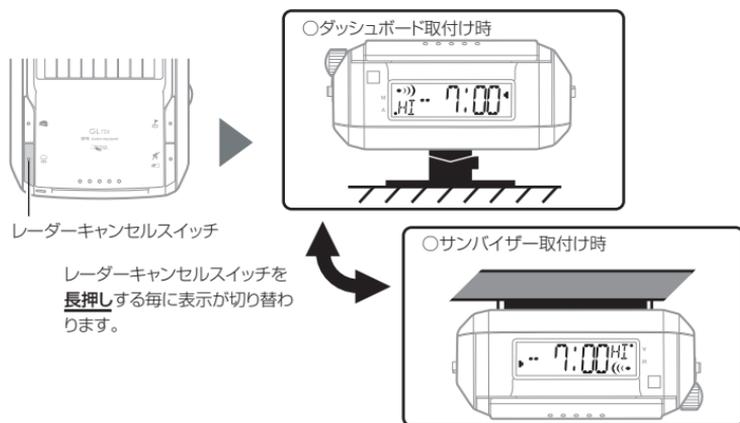
液晶表示反転機能

サンバイザーに本製品を取付ける場合、液晶表示を上下に反転させて使用することができます。

■設定方法

※ 電源スイッチ (P16) を ON にし、電源ランプが点灯、又は点滅している待機中の状態で設定を行って下さい。

レーダーキャンセル (罨) スイッチを長押しする毎に通常表示、反転表示に切り替わります。



オートボリュームダウン機能

本機がレーダー受信警報してから約 15 秒後に、警報音を自動でボリュームをダウンします。一度警報が解除されると元の警報音に戻ります。

オートディマー機能

時計 (時刻) 情報と太陽光の強弱によって自動的に電源ランプ、表示部バックライトの明るさを調整します。

○時間による調整

オートディマー作動時刻は 20 : 00 ~ 4 : 00 です。

○明るさによる調整

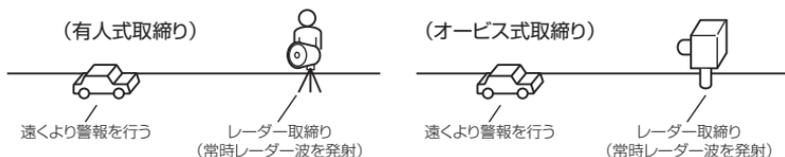
ソーラーパネルの発電量を利用して、明るさを調整します。

レーダー式の取締り

代表的なレーダー式取締りについての説明。

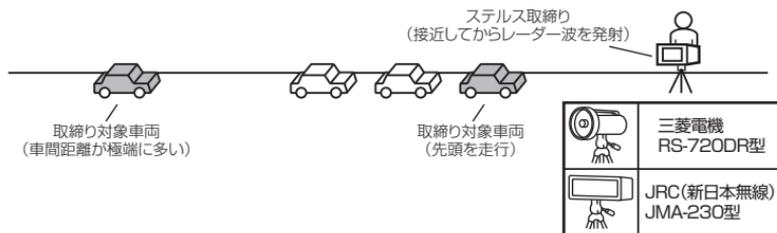
■レーダー式（本機で受信可能）

レーダー波を常時発射し、通過する車両の速度を測定します。また、レーダー式オービスの場合は違反車両を自動的に写真撮影します。多くの取締り現場に採用しておりレーダー波も500m以上の距離から受信する事ができます。



◇ステルス型

警察官がリモコンで装置をコントロールして電波を出します。至近距離まで取締り電波の発信を抑える“狙い撃ち”的方法ではレーダー受信機の反応は極端に遅れ70～100メートル地点（計測範囲内）でいきなり受信したり、また受信できないケースも想定されますので特に先頭を走行の際は、注意が必要です。



取締りの種類

◇新Hシステム

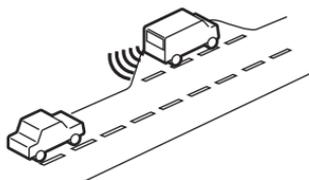
CCD カメラで違反車両のナンバー及び運転者を同時に撮影し専用回線を介して警察本部の大型コンピューターに送られます。受信距離は500m前後が一般的ですが電波の分布（間欠発信）の関係で連続音はやや遅くなります。本機はステルス・新Hシステムに対応できるように設計されています。



◇移動オービス式／パトカー車載式

ワンボックス車の後部にレーダー式オービスを搭載し、違反車両を取締る移動オービスとパトカーの赤色灯を改良して取締り機を搭載したパトカー車載式があります。どちらも出力の強いレーダー波を発射しますので、500m以上の距離から受信する事ができます。

※ 移動オービスで、本製品で探知できない光電管式もあります。

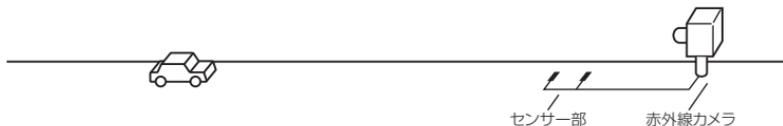


レーダー式以外の取締り

代表的なレーダー式以外の取締りについての説明。

◇ループコイル式取締り方法（オービス式取締り）

測定区間の始めと終わりに磁気スイッチ（金属センサー）を路面下、中央分離帯等に埋め込み、通過時間から速度を算出し、違反車両の写真を撮影します。



◇LHシステム式取締り方法（オービス式取締り）

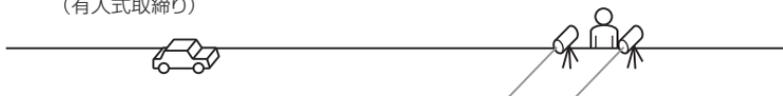
速度計測部がループコイル方式で、違反車両の写真撮影がHシステム方式の取締り機です。



◇光電管式取締り方法（有人式取締り／オービス式取締り）

2点間に置かれたセンサーの通過時間から速度を算出し、違反車両を特定します。

（有人式取締り）



◇追尾式取締り方法

パトカー・覆面パトカー・白バイ等が、一定の車両間隔を保った状態で後方を追尾し走行速度を測定し記録します。

その他

故障かな？と思ったら

製品に異常があった場合、下記内容をご確認ください。

症 状	ここをチェックしてください。	参照ページ
電源が入らない	●電源スイッチは ON になっていますか？	16 ページ
	●十分な充電がしてありますか？	18 ページ
	●LSC-V 機能は正しく設定してありますか？	24 ページ
警報をししない	●音量は正しく設定してありますか？	18 ページ
	●LSC-V 機能が作動していませんか？	24 ページ
レーダー警報をししない場合	●レーダー式以外の取締りではありませんか？	45 ページ
無線を受信ししない場合	●対象はカーロケーターシステム搭載の緊急車両ですか？	29 ページ
	●各無線の設定は ON になっていますか？	20 ページ
LSC-V 機能が働かない	●LSC-V 機能は正しく設定してありますか？	24 ページ
ASC-V 機能が働かない	●ASC-V 機能は正しく設定してありますか？	21 ページ

製品仕様

◇レーダー本体

電源電圧	DC12V 専用	受信周波数
最小消費電流	10mA 以下	GPS
		・Xバンド (10.525GHz)
最大消費電流	200mA	・Kバンド (24.200GHz)
受信方式	ダブルスーパーヘテロダイン	・取締用連絡無線 (350.1MHz 帯)
検波方式	FM トラッキングタイムカウント方式	・カーロケーターシステム (407MHz 帯)
動作温度範囲	-10℃～60℃	
連続作動時間	100 時間 (おまかせモード設定時で無警報状態)	
本体サイズ	70 (W) × 109 (L) × 32 (H) /mm (突起部除く)	
重量	175 g (充電池含む)	

※ 本製品の外観および仕様は、改良のため予告なく変更する事があります。予めご了承ください。

さくいん

1/A

350.1MHzの警報	31
ASC-V/i	21
GPSについて	10
LSC-V/i	24
LSCマーク	24
N/NHシステムの警報	33
SS-063	16
SS-065	7

あ

液晶表示画面について	10
オートセンシティブコントロール	21
オートディマー機能	44
オートパワー OFF 機能	17
オートボリュームダウン機能	44
オービス警報	32
オービス警報キャンセル登録/解除	37/38
おまかせ機能	42
音量調整	18

か

各部の名称	4
カーロケーターの警報	29
警告	2
警報音の設定	20
故障かな	48

さ

サービスエリアのお知らせ	35
事故ポイント	34
充電方法	8
使用上の注意	2
振動センサーの設定	24
製品仕様	48
セーフモード設定	35
設定の ON/OFF	19
速度/時計表示機能	43

た

チェックポイントの警報	34
ディスプレイモード	41
テスト機能	18
データ更新	11
データリセット	41
電源を入れる	16
取締の種類	45
取締用連絡無線	31
取付け方法	12

は

パーキングエリアのお知らせ	35
バッテリーチェック	18
パトロールエリアの警報	31
付属品	6
保証	51/52
ポリスエリア警報	34
ボリューム (音量)	18

ま

ミュート表示	23
無線警報の受信感度	28

や

ユーザー登録ポイント追加/解除	37/38
ユーザー登録の警報	32

ら

レーダーキャンセル登録/解除	39
レーダー受信感度	21
コーススピードキャンセル	24
ロードセレクト機能	36
ローバッテリーサイン	18